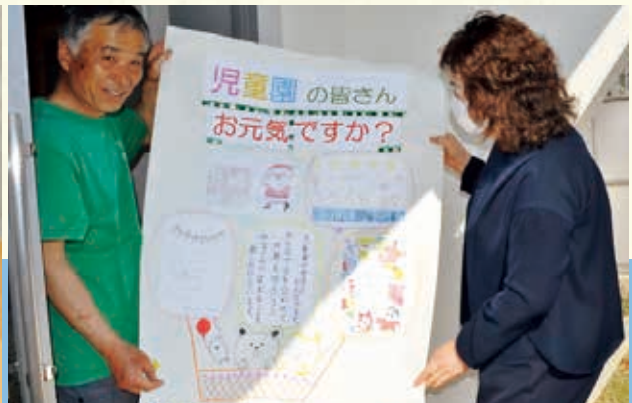


地域で学び、地域と共に歩む松本大学の今。

松本大学学報

sokyu 蒼穹

2020.6 Vol.139



活動再開を願い、今できることを(詳しくはP.14をご覧ください)

特集

本学の新型コロナウイルス対策 健康と安全を最優先に

新しい形の教育・研究のあり方を模索しながら 学びの質と量の確保をめざす P.02

- 2019年度学位授与式・2020年度入学式 P.05
- 2019年度 卒業生の進路 P.06
- 就任・新任者あいさつ P.08
- 学内の研究交流の機会として「第8回松本大学教員研究発表会」を開催 P.10
- 地域連携活動 P.14 ほか

健康と安全を最優先に 新しい形の教育・研究のあり方を模索しながら 学びの質と量の確保をめざす

世界中で猛威を振っている新型コロナウイルス。本学では令和2年2月25日「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、オンライン授業への移行、大学構内の立ち入り制限、経済的支援等の対策を講じてまいりました。こうした厳しい状況のなかでも、健康と安全面への十分な配慮をしながら教育機会を最大限確保していくため、全学一丸となって学生への対応に全力を注いでいます。その取り組み内容についてご紹介します。

新型コロナウイルスへの対応にあたって

3月の学位授与式や4月の入学式も、学生の代表者だけが集まった極めて小規模での開催となってしまいました。新入生だけでも、大学に招いてオリエンテーションをと目論んでいましたが、それも叶いませんでした。その後緊急事態宣言へと、状況はどんどん悪化し、対面式の通常の授業が行えなくなり、急ぎTeamsを使ったオンライン授業を計画しました。松商短期大学部長の浜崎教授が講師となり、教職員ともにわか仕込みの研修会を始め、5月ゴールデンウィーク明けからの実施に備え、連休中も教職員は実践的な猛勉強に励みました。

浜崎先生はノーベル賞に輝いた小林・益川理論の実験的検証に携わり、世界を相手に渡り合っていた研究者で、そのコンピュータ部門の責任者でした。こうした人材の活躍があって、実験・実習・実技科目を除き、遠隔講義

の実現に向け、素早い準備ができました。

また宣言解除後は、実験等どうしても対面式でなければ成果のあがらない授業も何とか実現すべく、土日也使い遠隔授業との共存を図りつつ、時間割に修正を加え臨んでいます。

今後の円滑な授業展開と共に、全国の多くの大学生が「今年の大学授業料半額化」「学生への支援金一律給付」「情報環境整備のための支援」など文科省等へも要請しています。政府主導の「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』申請への取り組みは、学生委員会が中心となって実施しました。さらに、本学でも身の丈にあった独自の可能性を探った結果、理事長主導のもと、全学生に対し学修支援金の給付が実現する運びとなりました。

新型コロナウイルス感染症対策本部長 住吉 廣行

オンライン授業の導入で捉えられたこと

学校教育学科 准教授 國府田 祐子

担当するすべての授業・ガイダンスの初回で、学生に次のように説明をしました。



資料を手元に学生へ指導

「①オンラインで対面型を補えるか②対面型に叶わないことは何か③オンラインだからこぞできること、を探っていく時間になると思います。この3つを明らかにするためには、学生のみならずと教員、双方の協力が必要です(概略)」

約1カ月実施し感じたメリットは、やりとりのスピード化です。授業内外で学生から積極的に質問が出ます。ゼミ生ではない学生が研究の書

籍について問い合わせをしてきました。帰省先からでしたが、すぐに画面でつながり、距離は感じませんでした。

短所は学生の反応が見えにくいことです。私の授業スタイルは講義室にて学生の机の間に入り、発言や討議を促す形です。オンラインは反応も表情も見えにくく、一往復で終わることもあるため、学生の深い思考を呼び起こすにはまだ時間がかかりそうです。

コロナ禍のために選択の余地のない中で、オンライン授業が全国の大学に導入されました。対面型と遠隔型のどちらにもよさはあると捉えています。今後も①②③を念頭に置き、よりよい授業を探ってまいります。

学生からの声

オンライン授業でも先生やゼミ生とつながっていると実感 授業のない時は、家での時間を有効活用しています

藤松 彩絵(学校教育学科3年)



オンライン授業が始まりましたが、今まで特に大きな困り事もなく順調に受講できています。自宅はWi-Fi環境のため、通信環境も問題はありません。オンライン授業では、授業を受けながら、わからないことがあればすぐに別のブラウザを立ち上げてパソコンで調べられる利点があります。そして、対面授業では配布されない資料も、データをアップロードしていただいているので、授業中に聞き逃してしまった部分も復習することができます。ですが、グループワーク

や対面で理解を深める学習方法はオンライン上では難しいと感じます。また、授業中に先生からチャットで意見を聞かれたときに、なかなかみんなの前で積極的に発言することができずにいます。授業後のアンケートや自由記述で個別に回答する時の方が気兼ねなく自分の意見を伝えることができます。

オンライン授業が始まる前から、先生が配慮してくださり、オンライン上で先生やゼミ生との交流があったので、授業開始直後も特に混乱もなく臨むことが出来ました。今は授業のない時間は、家事を手伝ったり、教員採用試験の勉強をしたりと時間を有効活用しています。

学生の動線を意識し、工夫を凝らしたオンライン授業

松商短期大学部 准教授 廣瀬 豊

本学のオンライン授業は「ライブ配信型」であり、対面式の授業と同じ感覚です。しかし、学生が関心を持って受講しているか反応が直接見られないため、アドリブでカバーすることが難しく、事前に準備する「問い」と確認するための「資料」や「課題」が大きく影響します。これまでの対面式の授業ではずいぶん学生に助けられてきたのだと改めて感じました。

そこで、授業を受けている学生の動線を意識し、極力無駄な動作を減らして楽に授業を受けられるように考えました。そして、その動線についてどのように指示をするのかを考えることから始めました。幸い、松商短期大学部では2016年度から、学習支援システム(Glexa)が導入されており、出席、授業資

料や事前事後学習課題の提示及び提出についてはシステム化されていたので、今回使用する会議システム(Microsoft Teams)との動線を確保することにより解決できたと思います。また、Glexaは対面授業でも使用するシステムであり、今後の学習にも役立つと考えています。

授業では、毎回授業アンケートにより、学生の理解度の確認や質問などへの回答を行い、コミュニケーションを図っています。これまでの対面式の授業よりもこうしたコミュニケーションは増えていきます。学生の意見から、映像資料は改善を望む声も多く、ラ

イブではなくオンデマンド配信を組み合わせることも検討課題と感じています。また、グループワークにも取り組んでいますが、タイムラグなどにより特有の間が派生しています。これは通信環境の問題もあり慣れも必要だと感じています。

突然始まったオンライン授業ですが、今回限りの特別なものとしてとらえるのではなく、今後の「学び」のバリエーションとして、「ライブ配信型」に加え「オンデマンド型」を通常の対面式の授業と組み合わせることを検討しても良いと感じています。



学生からの見やすさを意識し、複数のパソコンやタブレットを使って授業を進行

学生からの声

オンライン授業をスムーズに受講できているが、早く通学してさまざまな活動を行いたい

加藤 和奈香 (松商短期大学部 経営情報学科1年)



大学に入る前から自分専用のパソコンを準備していたので、オンライン授業になっても設備に困ることはありませんでした。高校時代まであまりパソコンに触れていなかったため、最初はパソコンの基本操作に戸惑いましたが、授業で使うTeamsのアプリは、思いのほか簡単で、すぐに活用することができました。今は授業にも慣れ、スムーズに受講できていますが、実践を伴う授業などは、先生に自分の画面を見てアドバイスをしてほしい時があるので、

対面授業の方が良いと感じました。高校時代の友人も一緒に入学しているので、何かあった時はすぐに相談でき、とても助かっています。今は1限が始

まるまで、時間に余裕をもって朝の支度などができるというメリットもありますが、早く通学できるようになりたいです。入学してからまだ一度も大学に行けていないので、部活動やサークルを見学したり、図書館も利用してみたいです。また、新しい友達を作ってお昼休みに学食に行ってランチもしたいです。



対面授業を一部開始しました



6月8日から一部の科目において対面授業を開始しました。写真は健康栄養学科の実習の様子です。フェイスシールドをつけて対策をとりながら授業を行いました。

検温アラームシステムを設置



登校した学生は、必ず検温システムの前を通過するようにし、健康チェック票に体温を記入したうえで授業に出席しています。

WEBを活用した新しい就職支援

キャリアセンター 課長 中村 高士



面談指導の様子

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各地で合同企業説明会の中止が続々と発表される中、本学でも学内でのイベントを中止しました。そのため就職活動に支障をきたした学生が少なくありません。この間就職委員会及びキャリアセンターでは、連日検討を重ねながら段階的な就職支援を行っています。

3月中は学生の安全に配慮した上で、学内で個別の企業説明会を開催しました。また、学内でWi-Fiが利用できる教室を学生に提供し、ノートPCを通じてオンラインでの面接指導を行いました。しかし感染症は更に拡大を続け、4月以降学内入構禁止となったことに伴い、更なる対応が求められることになりました。

まず、キャリアセンターへの相談・報告は、専用のメールアドレスを設定し、これまで学生がキャリアセンターに来て窓口で質問・報告していたことを、すべてメールで対応することにしました。また、LINEアカウン

トを開設し、登録者には求人情報を提供しています。その他にもWEB会議サービスを利用することにより、以下のことが可能となりました。

- Web会議、メールでの個別相談(約500件)
- Web面接指導(約200件)
- 本学主催のオンライン会社説明会(約40社)

感染症拡大の影響は不都合な点が多かった一方で、学生にとっていくつかのメリットがあったと考えられます。また、キャリアセンターではメールで申込みを受理した

ことにより、時間的に調整を図りながら事務作業や就職支援を進めることができました。しかし、対面による指導ができないため、学生の本音を導きだすことや気づきを与えることに限界を感じる点もありました。感染症が収束した後も、今回得ることができたメリットを活かしつつ、より良い学生の就職支援に結び付けたいと考えています。就職活動中の学生にとって異例の事態が続いていますが、引き続き頑張りたいと思います。

県内企業からの声

オンライン会社説明会でのメリット・デメリット

【メリット】

- 遠いところからでも学生とつながれる
- 説明会の際資料投影すると後ろの学生には見えなかったりするが、オンラインで資料をアップすることにより、みんなが同じ大きさで見ることができる

【デメリット】

- 対面できないので、説明内容が学生に伝わっているか不安
- 説明者側の学生への見せ方の技が必要



オンライン方式を導入した教員採用試験指導の充実

全学教職センター長・教授 山崎 保寿

教職センターの強みは、学生の状況を常に把握し、教員採用試験の受験に向けてきめ細かい指導を行っていることです。新型コロナウイ



ルスの対策としては、オンライン方式と対面方式を併用し、学生の実力アップを図っています。

オンライン方式では、木曜日5限に「教採対策講座」を実施しています。教員採用試験に向けた学習計画に基づき、チャレンジテスト、小論文添削指導、模擬面接を行っています。これらは、受験を控えた4年生中心の実践的内容ですが、3年生も受講でき、1年後の受験に備え計画的な学習を進めています。

4年生対象の模擬面接では、オンライン方

式で基本的な指導を行い、対面方式では校種と免許種に合わせた応答指導を取り入れて

います。学生が自分の考えを持ち、自らの体験を踏まえたうえで、教師としてどのように指導するかを明確に面接官に伝えることを目標にしています。そのために、試験会場で自分の力を発揮できる心構えと内面的な力を高めることを目指しています。

受験や学習に関する質問については、メールやオンラインのチャットで学生が質問を寄せ、専門員または教員が速やかに回答するようにしています。

「松本大学オンライン授業環境整備支援金」を給付

松本大学並びに松本大学松商短期大学部においては、5月7日からオンライン授業を開始しました。その後、6月8日からは一部の科目において対面授業を実施しながらも、学生の皆さんからの要望に積極的に応える努力をしながら、授業を進めています。

学生の皆さんが今後、継続的にオンライン授業のためのWi-Fi環境を中心とする学修環境を維持・整備することを少しでも支援するために、「オンライン授業環境整備支援金」として、全学生に一律2万円を給付しました。

皆さんが本学での学びに対する意欲を持ち続けることを切に望んでいます。

修学のための本学独自の制度と国の新制度

今回の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済状況悪化等により、修学が困難となった学生に対して、2020年度前期授業料の半額を上限として免除する本学独自の支援制度の募集を行い、13名の学生が認定されました。2020年後期授業料についても、募集する予定で準備を進めています。

また、国の支援策である学生支援給付金制度「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』についても6月中に募集し、大学からの推薦手続きを行いました。なお、今後第2次推薦枠もありますので、未申請の学生には漏れなく申請いただきたいと思ひます。

奨学金のお問い合わせは学生課までお願いいたします。

—2019年度学位授与式・2020年度入学式—

新型コロナウイルス感染症対策により、学位授与式と入学式は規模を縮小し、代表者のみの出席で執り行われました。

卒業生576名の旅立ち

春の日差しが降り注ぐ3月13日、2019年度学位授与式が執り行われました。大学院(健康科学研究科第8期生4名)、総合経営学部198名(総合経営学科第15期生105名・観光ホスピタリティ学科第11期生93名)、人間健康学部161名(健康栄養学科第10期生70名・スポーツ健康学科第10期生91名)、短期大学部(商学科第66期生106名・経営

情報学科第27期生107名)が新たな一歩を踏み出しました。代表者のみの出席で行われましたが、卒業生・修了生代表挨拶では、学友会会長を務めた観光ホスピタリティ学科の大島桃子さんが、明日に向かっての力強い決意を述べました。

(総務課長 松尾 淳彦)

新生活への期待を胸に

2020年度入学式が4月3日に執り行われ、本年度は、大学院5名、総合経営学部186名(総合経営学科第19期生97名・観光ホスピタリティ学科第15期生89名)、人間健康学部192名(健康栄養学科第14期生80名・スポーツ健康学科第14期生112名)、教育学部88名、松商短期大学部204名(商学科第68期生103名・経営情報学科第29期生101名)の計675名の入学生を迎えました。



式には各学部の代表者7名が出席し、新入生代表の総合経営学部観光ホスピタリティ学科の小林莉奈さんは、「多くの仲間とともに、一人ひとりが目指す将来の夢の実現に向け、互いに切磋琢磨しながら成長したい。地域社会について理解を深め、現代社会の現状を深く学び、自ら判断・行動する能力を身に付けたい。」と決意を述べました。

(管理課長 赤羽 雄次)



2020年度入学試験の状況

■ 松本大学大学院 [修士課程]

研究科	専攻	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
健康科学	健康科学	6	5	5	5	100.0%	5	5	83.3%
	合計	6	5	5	5	100.0%	5	5	83.3%

※留学生を除く

■ 松本大学 1年次入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	90	576	564	128	440.6%	97	97	107.8%
	観光ホスピタリティ	80	443	432	108	400.0%	89	89	111.3%
	小計	170	1,019	996	236	422.0%	186	186	109.4%
人間健康	健康栄養	70	163	161	112	143.8%	79	79	112.9%
	スポーツ健康	100	208	207	140	147.9%	111	111	111.0%
	小計	170	371	368	252	146.0%	190	190	111.8%
教育学部	学校教育学科	80	334	328	199	164.8%	88	88	110.0%
	小計	80	334	328	199	164.8%	88	88	110.0%
合計		420	1,724	1,692	687	246.3%	464	464	110.5%

※留学生を除く

■ 松本大学 編入・転入学生

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
総合経営	総合経営	5	2	2					
	観光ホスピタリティ	5							
	小計	10	2	2					
人間健康	健康栄養	5	1	1	1	100.0%	1	1	20.0%
	スポーツ健康	5							
	小計	10	1	1	1	100.0%	1	1	10.0%
合計		20	3	3	1	300.0%	1	1	5.0%

※留学生を除く

■ 松本大学松商短期大学部

学部	学科	入学定員 A	志願者数	受験者数 B	合格者数 C	競争率 B/C	手続者数	入学者数 D	充足率 D/A
短期大学部	商	100	123	123	120	102.5%	103	103	103.0%
	経営情報	100	118	118	110	107.3%	101	101	101.0%
	合計	200	241	241	230	104.8%	204	204	102.0%

※留学生を除く

この数年間の受験生の「文高理低」志向と大学側の厳格な入学定員管理に加えて、高大接続入試改革の影響から、昨年度の受験生は「超安全志向」だと予測されました。事実、総合経営学部では過去最高の受験者数となりました。また、健康栄養学科では指定校推薦選抜の受験者が例年の2倍近くとなり、年内に想定以上の入学手続き者があった一方、年明けの一般選抜やセンター試験の受験者は減少傾向で、「年内に安全に受験を」という傾向が裏づけられた格好となりました。その状況下で、教育学部も2年連続で定員を確保し、スポーツ健康学科や松商短期大学部も含め、すべての学部学科で定員を満たすことができました。

2021年度入学者選抜では、新型コロナウイルス感染の拡大動向をにらみながら、安全かつ適切な入学者選抜が求められるため、今から身が引き締まる思いです。(2019年度入試・広報委員長 山田 一哉)

卒業生の進路

2019年度の就職内定率は、大学・短大全体で98.5%と昨年度を上回る良い結果となりました。各学部の卒業生の進路状況についてまとめます。

総合経営学部

高い就職内定率の確保と
さらなる支援の充実を目指して

本学部の就職内定率は98.4%（総合経営学科100%、観光ホスピタリティ学科96.5%）と、これまでと同様に高い就職内定率を維持することができました。このことは、2019年度においても「売り手市場」が継続したこともあります。教員とキャリアセンタースタッフによるきめ細かい支援が実を結んだものと考えております。なお、近年の就職活動においてはインターンシップへの参加が重要視され、また、就職活動の前倒し化が進んできております。こうした変化にも対応すべく、引き続き学生への支援内容の検討と質の向上に取り組んでまいります。

（2019年度就職委員会 総合経営学部主任 今村 篤史）

人間健康学部

幅広い職種から求められる人材育成
高い内定率を維持

本学部の就職内定率は97.4%となり2019年度も高い数字を維持することができました。健康栄養学科では長野県の管理栄養士として1名(昨年度は2名)が採用されたほか、病院・高齢者施設等の専門職(管理栄養士・栄養士)として多くの学生が採用されています。スポーツ健康学科では健康運動指導士・教員(教員採用試験に4名合格(内長野県3名))をはじめ、幅広い職種に採用されています。「就職内定時期の早期化」と「インターンシップの重要性」の現状を考慮しつつ、「納得した進路決定」をするためのきめ細かな就職活動の支援に取り組んでまいります。

（2019年度就職委員会 人間健康学部主任 小松 茂美）

松商短期大学部

保護者や地域企業との連携を深め
適時適切な学生支援を

松商短期大学部では、本年度卒業生の就職内定率が99.5%となり、昨年度の97.9%に引き続いて、非常に高い数値で学生を社会に送り出すことができました。ここ数年の堅調な経済情勢を背景として、学生の努力はもちろん、キャリアセンターやゼミナール教員による手厚い指導の継続がこのような好結果に繋がりました。就職活動時期の早期化や今後の経済情勢の変動に備え、保護者をはじめ地域企業と連携を深めながら、適時適切な学生支援により一層力を注いで参りたいと考えています。

（2019年度就職委員会 短期大学部主任 木下 貴博）

大学院

健康科学研究科

本研究科で培った研究能力を
新たなキャリアステージへ

2019年度は、4名が健康科学研究科を修了しました。そのうち1名は(株)甲信マツダに就職し、もう1名は夢に向かって、目下就職活動中です。残る2名は社会人院生であり、1名は松本短期大学に助手として採用されました。もう1名は、引き続き相澤東病院で看護部長として後進の指導等に尽力しています。どの道に進まれても修了生の皆さんには、大学院で培った研究能力を新たなキャリアステージで発揮してくれることを期待しております。

（2019年度就職委員会 大学院主任 新井 喜代加）

総合経営学部

進路別		計
就職	181	181
進学	1	1
進路未決定	3	3
家居・その他	13	13
合計	198	198

▼総合経営学科就職先一覧

産業分類	企業名	計	
建設	㈱アルプスピアホーム	1	
	㈱岩野商会	2	
	㈱角藤	1	
	㈱虹寿	1	
	セキスイハイム信越㈱	1	
	㈱TOSYS	1	
	㈱新津組	1	
	㈱サン・フーズ	1	
	㈱ナガノマト	1	
	三洋クラブ㈱	1	
製造	㈱アルプスツール	1	
	㈱共進	1	
	㈱サンコー	1	
	高島産業㈱	1	
	㈱栄光製作所	1	
	オリオン 機械㈱	1	
	㈱キッツ	1	
	㈱キョウデン	1	
	㈱SYNTAX	1	
	㈱ディエス㈱	1	
電気・ガス・熱供給・水道	㈱南信精機製作所	2	
	安曇野多通信工業㈱	2	
	上松電子㈱	1	
	岡谷酸素㈱	1	
	サンリン㈱	1	
	長野都市ガス㈱	1	
	情報通信	㈱アドヴァース・インフォメーション・デザイン	1
		キッセイコムテック㈱	1
		コマツ㈱	1
		㈱マイネットシステム	1
運輸・郵便		㈱アルプスウェイ	1
		㈱エム・イー	2
		㈱エラン	3
		㈱カネト	1
		㈱国興	1
		サントリピーパレッジサービス㈱	1
	信濃電材㈱	1	
	㈱シンケン	2	
	㈱林	1	
	南信ヤマト販売㈱	1	
卸売・小売	富田物産㈱	1	
	富士ゼロックス長野㈱	1	
	㈱本久	2	
	㈱大和	1	
	アイ・ディー・エックス㈱	1	
	アグリアルリテイリング㈱	1	
	㈱興和クリエイト	1	
	㈱ツルヤ	2	
	㈱デリシア	4	
	トヨタユニ・グループ	1	
金融・保険	㈱スズキ自販長野	1	
	長野日野自動車㈱	2	
	㈱西源	1	
	ヘルスインターメッド㈱	1	
	㈱福半ホームエイド	3	
	松本信用金庫	1	
	㈱セントピア	1	
	㈱アグティオ	1	
	㈱T.G.フーズ	1	
	㈱テックプロ/テクノ/エンジニアリング社	1	
教育・学習支援	㈱軽井庄	1	
	㈱サクレリン甲信越	1	
	長野県公立高等学校教諭	1	
	長野県公立高等学校(臨時)	1	
	㈱タナベ・コーポレーション	1	
	社会医療法人中信勤労者医療協会松本協立病院	1	
	社会医療法人中信勤労者医療協会松本協立病院	1	
	長野県厚生農業協同組合連合会	1	
	社会福祉法人三幸福祉会	1	
	㈱ほほみ	1	
複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1	
	大北農業協同組合	1	
	日本郵便㈱	1	
	松本ハイランド農業協同組合	3	
	㈱エジエック	1	
	エン・ジャパン ㈱	1	
	㈱コンフォール	1	
	長野県中古自動車販売商工組合	1	
	日本連合管備㈱	1	
	計	98	

就職内定率

98.4%

(就職内定者181人/就職希望者184人)

▼観光ホスピタリティ学科就職先一覧

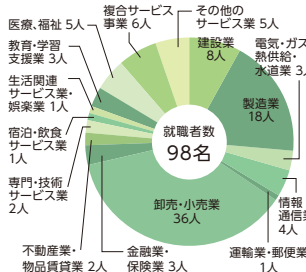
産業分類	企業名	計	
建設	㈱一条工務店	1	
	㈱岩野商会	1	
	㈱角藤	1	
	㈱サンプロ	1	
	㈱勝栄土建	1	
	㈱林建工㈱	1	
	松本土建㈱	1	
	㈱マナテック	2	
	㈱サンコー	1	
	太陽工業㈱	1	
製造	赤田工業㈱	1	
	エア・ウォーター・マッハ㈱	1	
	㈱キッツマテックロフィルター	1	
	高松機械工業㈱	1	
	マクセルイズミ㈱	1	
	信州吉野電機㈱	1	
	トビファクター工業㈱	1	
	伊丹産業㈱	1	
	岡谷酸素㈱	1	
	サンリン㈱	1	
情報通信	㈱テレビ松本ケーブルビジョン	1	
	㈱艇前屋	1	
	㈱エフ・アグー	1	
	㈱エラン	2	
	キッセイ商事㈱	1	
	㈱国興	3	
	中日本メディアカレッジ㈱	2	
	㈱林	1	
	南信ヤマト販売㈱	1	
	松本ノーサン	1	
卸売・小売	㈱メディアセオ	1	
	プリDESTスタイヤ信州販売㈱	1	
	㈱ヨコハマタイヤサービス甲信	1	
	リコージャパン ㈱	1	
	アイ・ディー・エックス㈱	1	
	㈱興和クリエイト	3	
	㈱ザ・ジャパン	1	
	四季農園	1	
	㈱ツルヤ	2	
	㈱デリシア	2	
金融・保険	㈱西源	2	
	㈱パローホルディングス	1	
	トヨタユニ・グループ	1	
	いすゞ自動車中部㈱	1	
	茨城トヨベツ ㈱	1	
	上高地自動車㈱	1	
	㈱甲信マツダ	1	
	㈱スズキ自販長野	1	
	㈱軽高自動車	1	
	松本日産自動車㈱	1	
不動産・物品賃貸	松本信用金庫	1	
	㈱チンタイバンク	1	
	㈱アグティオ	1	
	㈱サンコーレシタル	1	
	宿泊・飲食サービス	合資会社期間温泉	1
		㈱星野リゾート	1
		アルピコ長野トラベル㈱	1
		愛媛県民探検団	2
		㈱サクレリン甲信越	1
		サンリエモア㈱	1
㈱TTC		1	
教育・学習支援		長野県公立中学校(臨時)	1
		社会医療法人中信勤労者医療協会松本協立病院	1
		社会福祉法人サン・ビジョン	1
	社会福祉法人下諏訪町社会福祉協議会	1	
	複合サービス事業	佐々木開発協同組合	1
		信州うえだ農業協同組合	1
		松本ハイランド農業協同組合	1
		その他のサービス	1
		アグティオ ㈱	1
		花村産業㈱	1
諏訪市役所		1	
長野県前夜場		1	
松本市役所(嘱託)		1	
計		83	

進学先一覧

学校名	計
進学 日本ビューマンセラモニー専門学校	1
計	1

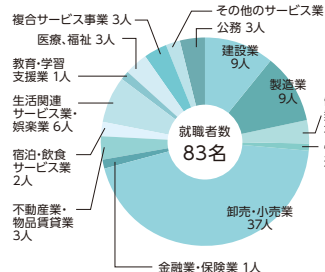
総合経営学科

■就職先の業種別人数



観光ホスピタリティ学科

■就職先の業種別人数



人間健康学部

進路別	計
就職	150
進学	4
進路未決定	4
家居・その他	3
合計	161

▼健康栄養学科就職先一覧

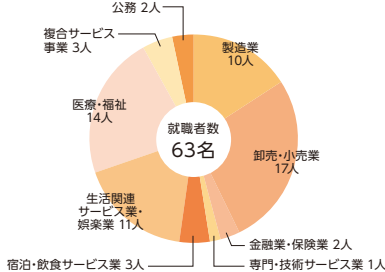
産業分類	企業名	計
製造	ゴールバック㈱	1
	㈱シャトーレーゼ	1
	信州ハム㈱	1
	信州ミルクランド㈱	1
	日穀製粉㈱	2
	㈱ホーライ	1
	㈱みずぎコーポレーション	1
	㈱アルビオン	1
	㈱アルプスツール	1
	長野県酒類販売㈱	1
卸売・小売	南信ヤクルト販売㈱	1
	ウエルシア薬局㈱	5
	㈱カワチ食品	3
	㈱クスリのサンロード	1
	㈱ツルハ	1
	㈱マツモトキヨシ甲信越販売	3
	㈱モリキ	2
	㈱八十二銀行	1
	あいおいニッセイ同和損害保険㈱	1
	メタウォーターテック㈱	1
金融・保険	合資会社親湯温泉	1
	㈱ステディワークス	1
	日本レストランシステム㈱	1
	㈱サニクリーン甲信越	1
	シダックス㈱	1
	日清医療食品㈱中部支店	7
	㈱メフォス	1
	メリックス㈱	1
	鈴木歯科医院	2
	医療法人徳洲会山北徳洲会病院	1
医療・福祉	戸田中央医療グループ	1
	長野県学生業協同組合連合会浅間総合こども医療センター	1
	特定医療法人丸山会丸山中央病院	1
	医療法人芳村会村井病院	1
	社会福祉法人敬老園	3
	社会福祉法人高遠さくら福祉会	1
	社会福祉法人れんげ福祉会	1
	社会福祉法人ひよろ保寿園	1
	㈱妙義会	1
	上伊那農業協同組合	1
複合サービス事業	ながの農業協同組合	1
	松本ハイランド農業協同組合	1
	佐々穂町役場	1
公務	長野県庁	1
	計	63

進学先一覧

学校名	計
進学 松本大学大学院健康科学研究科	3
計	3

健康栄養学科

■就職先の業種別人数



就職内定率
97.4%
(就職内定者150人/就職希望者154人)

▼スポーツ健康学科就職先一覧

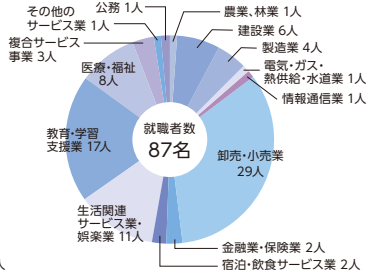
産業分類	企業名	計		
農業・林業	㈱KNOWCH	1		
	セキスイハイム信越㈱	1		
	(有)ミズ興業	1		
	建設 ㈱片瀬建設	1		
	㈱片瀬組	1		
	㈱ヤマクラ	2		
	六合㈱	1		
	製造	日本食研ホールディングス㈱	1	
		(有)多田アレイション	1	
		㈱TSS	1	
㈱ミキエンジニアリング		1		
販売経路		㈱サイザン	1	
		情報通信	㈱エス・ケイ通信	1
			㈱エム・イー	2
			同野薬品㈱	2
			㈱小泉	1
			㈱国興	1
	サントリーパレージャサービス㈱		2	
	㈱信越フキタ		1	
	炭平コーポレーション㈱		1	
	中日本メディカルリンク㈱		1	
ブリヂストンタイヤ長野販売㈱	1			
卸売・小売	北信ヤクルト販売㈱	1		
	㈱マルニシ	1		
	㈱本久	2		
	渡辺パイプ㈱	1		
	㈱AOKI	1		
	㈱クスのアオキ	1		
	㈱クスのサンロード	1		
	㈱コロナピアスポーツウェアジャパン	1		
	生活協同組合コープながの	3		
	㈱ツルハ	1		
金融・保険	トヨタニューグループ	1		
	㈱野田自動車㈱	2		
	㈱縮半ホームエイド	1		
	長野県信用組合	1		
	長野信用金庫	1		
	㈱五丁尺	1		
	㈱東急リゾートサービス	1		
	生活関連サービス・娯楽	㈱ウエルネスフロンティア	1	
		㈱サニクリーン甲信越	1	
		㈱三共商事	2	
㈱総合体育研究所		1		
栃木シティフットボールクラブ		1		
日本スキー場開発㈱		1		
㈱Philosopher's body project		1		
ミススポーツサービス㈱		1		
㈱ライジングスタイル		1		
㈱RISE		1		
教育・学習支援	長野県公立学校養護教諭	1		
	長野県公立小学校教諭	1		
	長野県公立中学校(臨時)	6		
	長野県公立高等学校(臨時)	2		
	長野県公立特別支援学校(臨時)	2		
	静岡県公立中学校(臨時)	1		
	北海道公立学校養護教諭	1		
	学校法人信学会	1		
	㈱長野自動車センター	1		
	㈱明光ネットワークジャパン	1		
医療・福祉	秋葉原 ART Clinic	1		
	医療法人平病院	1		
	社会医療法人中信勤労者医療協会	1		
	戸田中央医療グループ	2		
	特定非営利活動法人北アルプスの風	1		
	社会福祉法人サン・ビジョン	1		
	SOMPOケア㈱	1		
	複合サービス事業	あづみ農業協同組合	1	
		松本ハイランド農業協同組合	1	
		日本郵便㈱	1	
不動産・物品賃貸		1		
㈱セントメディア		1		
公務		1		
計		87		

進学先一覧

学校名	計
進学 松本大学大学院健康科学研究科	1
計	1

スポーツ健康学科

■就職先の業種別人数



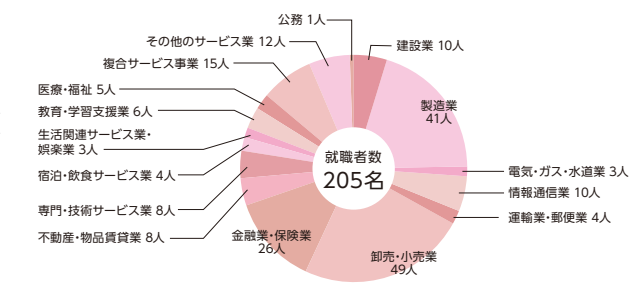
松商短期大学部

進路別	計
就職	205
進学	1
進路未決定	1
家居・その他	6
合計	213

▼就職先一覧

産業分類	企業名	計	
建設	アチーブメント	1	
	㈱岩野商会	1	
	㈱片瀬建設	1	
	ジェイビルド㈱	1	
	(有)塩尻建友	1	
	清水口建設	1	
	セキスイハイム信越㈱	4	
	製造	㈱北川製菓	1
		㈱デリカパーラー長野	2
		大光明工業㈱	1
㈱小松精機工作所		1	
㈱コヤマ		1	
㈱サンコー		2	
㈱シュター		1	
太陽工業㈱		2	
㈱中信高周波		1	
日軽松尾㈱		1	
金融・保険	㈱マスダ	1	
	大和電機工業㈱	3	
	㈱ユニオンプレート	1	
	赤田工業㈱	1	
	㈱飯沼グージ製作所	1	
	エア・ウォーター・マッハ㈱	2	
	㈱栄光製作所	2	
	㈱東陽	3	
	東洋計器㈱	1	
	日本ピスコ㈱	1	
生活関連サービス・娯楽	ロジテックIINAソリューションズ㈱	1	
	山洋電気テクノサービス㈱	1	
	新光電気工業㈱	1	
	セイコーエプソン㈱	6	
	ニチコン製電㈱	1	
	日本電熱㈱	1	
	サンリン㈱	3	
	エム㈱	1	
	キッセイコムテック㈱	1	
	㈱ケイアトファクトリー	1	
情報通信	㈱コスモック	1	
	㈱サイビス	1	
	㈱ジズテック	1	
	ダイワボウ情報システム㈱	1	
	㈱テレビ松本ケーブルビジョン	1	
	㈱ヒット・エイ	1	
	㈱マイネットシステム	1	
	大谷総業運輸倉庫㈱	1	
	眞訪倉庫㈱	2	
	㈱ナガヤマ物流	1	
卸売・小売	㈱エフケー	1	
	㈱小泉	3	
	昭和電機産業㈱	3	
	㈱シンケン	1	
	炭平コーポレーション㈱	2	
	㈱タカホ	2	
	㈱長印	1	
	D&X㈱	1	
	㈱デンセン	1	
	南信ヤクルト販売㈱	1	
パナソニック㈱ライフソリューションズ社	1		
㈱マルイチ産商	2		
㈱マルニシ	2		
吉岡興業㈱	1		
アイ・ディー・エックス㈱	1		
㈱一興堂	1		
ウエルシア薬局㈱	3		
㈱グッドスピード	1		
ブリヂストンタイヤ長野販売㈱	2		
㈱スズキ自販長野	2		
㈱スズキ自販南信	1		
生活協同組合コープながの	1		
㈱セブンイレブ(ジ)ン・ジャパン	1		
㈱ツルハ	2		

■就職先の業種別人数



進学先一覧

学校名	計
編入・進学 長野技術専門学校	1
計	1

就任あいさつ

学生の成長を第一に

松商短期大学部 学部長 浜崎 央



本年4月1日付で松商短期大学部の学部長を拝命いたしました浜崎央です。短期大学を取り巻く状況はかなり厳しいということは今更言うまでもないことですが、そのような中でも本学は一定数の入学者数を毎年確保し、卒業後はほとんどの学生を地元で就職させることで、本学の教育理念でもある「地域貢献」の役割を果たしてきました。現在のコロナ禍の中、なかなか学生を学内に呼ぶことも難しい状況ですが、どのような状況の中でも、これまでどおり、学生と個々に向き合い、学生の成長にとって最良の方法は何かを常に考えながら短期大学の運営に取り組んでいきたいと考えています。全教職員の協力を仰ぎながら、微力ではありますが力を発揮したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

現在のコロナ禍の中、なかなか学生を学内に呼ぶことも難しい状況ですが、どのような状況の中でも、これまでどおり、学生と個々に向き合い、学生の成長にとって最良の方法は何かを常に考えながら短期大学の運営に取り組んでいきたいと考えています。全教職員の協力を仰ぎながら、微力ではありますが力を発揮したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

今だからこそ必要な新しい学びをめざして

観光ホスピタリティ学科 学科長 白戸 洋



本学科は本年度から観光、地域、福祉という3つの学びをさらに充実させて、観光、地域振興、福祉社会デザイン、地域防災という4つのコースを設置し、多様な学びをめざしています。新型コロナウイルスの影響で社会が大きく変わりつつありますが、人と人が直接つながり、より良い社会や地域を創っていくことはますます大事になっていきます。むしろ今でしかできない学びや未来を創る学びの可能性さえも感じます。その中で、本学科の未来の社会や地域に必要な人づくりに向け、学科の教員・学生の皆さんとともに取り組んでいきたいと考えています。

本学科は本年度から観光、地域、福祉という3つの学びをさらに充実させて、観光、地域振興、福祉社会デザイン、地域防災という4つのコースを設置し、多様な学びをめざしています。新型コロナウイルスの影響で社会が大きく変わりつつありますが、人と人が直接つながり、より良い社会や地域を創っていくことはますます大事になっていきます。むしろ今でしかできない学びや未来を創る学びの可能性さえも感じます。その中で、本学科の未来の社会や地域に必要な人づくりに向け、学科の教員・学生の皆さんとともに取り組んでいきたいと考えています。

活力ある地域社会を創造する

総合経営学科へ 総合経営学科 学科長 清水 聡子



このたび総合経営学科の学科長に就任いたしました清水聡子です。総合経営学科は松本大学開学時に設置された学科です。活力ある地域社会を創造する総合的な経営能力を育成するために、①企業マネジメント、②経営戦略、③産業と心理、④地域産業、を学びの4本柱にしました。理論と実践の融合を目指します。

室谷心前学科長、矢崎久元学科長をお手本として、開かれた学科運営を行います。そして増尾均総合経営学部長、白戸洋観光ホスピタリティ学科長と協力し、魅力溢れる総合経営学部、地域から求められる総合経営学科となるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい学習環境づくりを目指して

松商短期大学部 経営情報学科 学科長 矢野口 聡



新型コロナウイルスの影響でオンライン教育の重要性が高まる中、AIやビッグデータを活用して、地域の様々な問題を解決しようとするスーパーシティ法が成立しました。現在、5Gの整備が進められていますが、いずれ地方の山間地域にまで電波が届くようになり、様々な分野のデータを連携させた基盤のもとで、地方でも都市部と遜色のないサービスを受用できるようになりそうです。感染症対策のことを考えれば、今後、地方での生活を求める人々が増えてくるかもしれません。そして、教育においてもICTをベースとした新たな学習システムが求められることを念頭に、松商短期大学部ならではの学習環境を考案していければと考えております。

新型コロナウイルスの影響でオンライン教育の重要性が高まる中、AIやビッグデータを活用して、地域の様々な問題を解決しようとするスーパーシティ法が成立しました。現在、5Gの整備が進められていますが、いずれ地方の山間地域にまで電波が届くようになり、様々な分野のデータを連携させた基盤のもとで、地方でも都市部と遜色のないサービスを受用できるようになりそうです。感染症対策のことを考えれば、今後、地方での生活を求める人々が増えてくるかもしれません。そして、教育においてもICTをベースとした新たな学習システムが求められることを念頭に、松商短期大学部ならではの学習環境を考案していければと考えております。

2020年度の運営体制

■ 学長	住吉 廣行
■ 副学長	等々力賢治 増尾 均
■ 大学院健康科学研究科	
研究科長	山田 一哉
■ 総合経営学部	
学 部 長	増尾 均
総合経営学科長	清水 聡子
観光ホスピタリティ学科長	白戸 洋
■ 人間健康学部	
学 部 長	木藤 伸夫
健康栄養学科長	高木 勝広
スポーツ健康学科長	根本 賢一

■ 教育学部	
学 部 長	川島 一夫
学校教育学科長	岸田 幸弘
■ 松商短期大学部	
学 部 長	浜崎 央
商学科長	山添 昌彦
経営情報学科長	矢野口 聡
■ 管理部門	
全学協議会議長	等々力賢治
全学運営会議長	住吉 廣行
内部質保証室長	住吉 廣行
自己点検・評価委員長	等々力賢治
FD・SD委員長	等々力賢治
IR委員長	等々力賢治
競争的資金申請推進委員長	岸田 幸弘

健康安全センター運営委員長	青木 雄次
衛生委員長	柴田 幸一
人権委員長	新井喜代加
施設管理センター運営委員長	柴田 幸一
危機管理委員長	田開寛太郎
■ 入試広報部門	
入試・広報委員長	山田 一哉
アドミッション・オフィス運営委員長	坂内 浩三
大学入学共通テスト実施委員長	中島 弘毅
■ 研究推進管理部門	
研究推進委員長	木藤 伸夫
地域総合研究センター運営委員長	河野 史倫
研究倫理委員長	河野 史倫
■ 地域連携部門	
地域連携委員長	白戸 洋

新任者あいさつ

社会実践と 学術研究の融合を目指して



総合経営学科 准教授
鈴木 智之

【専門分野】 就職試験／
人事アセスメント／
人的資源管理
【略歴】 東京大学大学院
情報学環特任准教授

これまで学術研究と民間企業や行政機関での社会実践に取り組んできました。具体的には、就職試験や人事評価を主なフィールドとして、採用面接、エントリーシート、適性検査、人事考課などの研究と改善策の導入を実践してきました。よろしくお願いいたします。

私のmotto



総合経営学科 専任講師
佐藤 嘉晃

【専門分野】 貨幣経済学
【略歴】 名古屋大学大学院
経済学研究科
博士課程後期課程 修了

令和2年4月より着任いたしました。「刻々と変化する社会において、次々に現れてくる新しい問題を解決することのできる、強くしなやかな思考力を持った人材の育成」をmottoに本学での研究・教育活動に尽力してまいります。

信濃の国は松本平から



観光ホスピタリティ学科 専任講師
丸山 宗志

【専門分野】 観光学／観光地理学
【略歴】 高崎経済大学非常勤講師／
立教大学兼任講師

亡父と母の出会いは初夏の信濃路を行く特急「あずさ」でした。この度のコロナ禍は地域経済や観光業に大きな影を落としていますが、今だからこそ「地域と観光」の新たな在り方を求めて、生前の父がこよなく愛した故郷・信州松本での仕事に励んでまいります。

「スポーツ」を通じて 何を伝えられるか



スポーツ健康学科 専任講師
伊藤 真之助

【専門分野】 スポーツ理学療法／
予防医学／
アスレティックトレーニング
【略歴】 九州大学 人間健康学府
博士後期課程

本年度4月からスポーツ健康学科に着任し、北海道札幌市より越してまいりました。スポーツ選手に対する外傷・障害からの復帰や競技力向上に至るまでの過程の中での動作修正が専門です。臨床現場での経験を活かし、研究や教育、地域に対する活動をしていきたいと思っています。

オンライン授業の日々の中で



スポーツ健康学科 教職センター 准教授
藤江 玲子

【専門分野】 教育学／発達生涯科学／
臨床心理学
【略歴】 長野県立高等学校・
長野県教育委員会教頭・指導主事等／
長野県スクールカウンセラー

「生徒指導論」、「教育相談」等を担当します。研究テーマは、「学校における予防」と「学校で活かす臨床心理学」です。オンライン授業の日々が続っていますが、学生の皆さんから、子どもたちへの深いまなざしと使命感が伝わってきて、やりがいを感じます。

基礎教育センター専門員

伸びゆく季節



久米 啓子 (担当) 国語

「人は言葉でものを考える」かつて同じ職場で机を並べた教師の、離任式でのお話です。この感覚を大切に、学生の皆さんと学びたい。か細かった早苗が、ずいぶんしっかりしてきました。伸びゆく季節の始まりです。

「学んだ」英語を「使える」英語に



塩野 敏彦 (担当) 英語

誰もが英語がもっと話せたら、読めたら、と思っているはず。自分のペースで楽しんで英語を勉強したい。そんな学生をできるだけサポートしたいと思っています。英語に関する相談、質問はどんなことでも受け付けます。共に学び続けましょう。

地域力創造委員長 高木 勝広
地域防災対策委員長 尻無浜博幸
地域健康支援ステーション運営委員長 根本 賢一
地域づくり考房『ゆめ』運営委員長 向井 健
高大連携推進委員長 山添 昌彦

学生センター部門

全学教務委員長 畑井 治文
基礎教育センター長 清水 聡子
公務員試験対策講座運営委員長 眞次 宏典
全学教職センター運営委員長 山崎 保寿
総経・人間教職センター長 山崎 保寿
教育学部教職支援センター長 征矢野達彦
情報センター運営委員長 矢野口 聡
図書館運営委員長 伊東 直登
国際交流センター運営委員長 益山代利子

インターンシップ推進委員長 上野 隆幸
就職委員長 上野 隆幸
学生委員長 岩間 英明

大学事務局

大学事務局長 柴田 幸一
事務局次長・総務課長 松尾 淳彦
総務課会計担当課長 中村 礼二
管理課長 赤羽 雄次
地域連携課長 赤羽 雄次
学生センター長・教務課長 赤羽 研太
入試広報室長 坂内 浩三
学生課長 白澤 聖樹
キャリアセンター課長 中村 高士
情報センター・図書館課長 田中 雅俊

新任者

<教員>

総合経営学科 准教授 鈴木 智之
総合経営学科 専任講師 佐藤 嘉晃
観光ホスピタリティ学科 専任講師 丸山 宗志
スポーツ健康学科 専任講師 伊藤真之助
総経・人間教職センター 准教授 藤江 玲子

<専門員>

基礎教育センター 久米 啓子
基礎教育センター 塩野 敏彦

<職員>

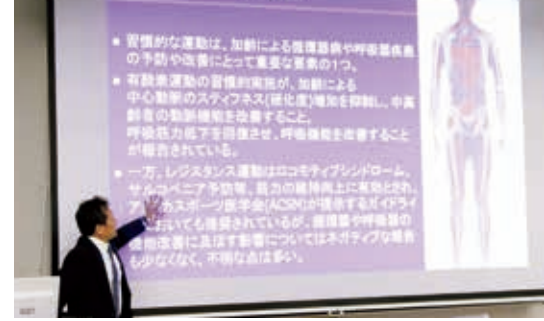
地域づくり考房『ゆめ』 中島 麻衣
法人事務局 林 智彦

学内の研究交流の機会として 「第8回松本大学教員研究発表会」を開催

研究推進委員会委員長・教授 木藤 伸夫

本年2月26日・27日に、第8回松本大学教員研究発表会を開催しました。初日、2日目ともに17題の発表があり、計34の演題が発表されました。両日の参加者の延べ人数は、教職員、大学院生、地域総合研究センター特別調査研究員の合計で93名となりました。演題数、参加者数ともにほぼ例年通りでしたが、昨年度は演題数が多かったため、少し寂しい

印象をもちました。参加者人数が学部構成員の半数を超えた学部は人間健康学部のみで、他学部や松商短大部からの参加者は教員数の半数に届きませんでした。学内助成金受給者の割合も影響していると思われますが、教員のより積極的な参加が今後求められます。2019年度は科研費の申請数も例年より少なかったこともあり、本研究会のような



学内の研究交流が少しでも松本大学の研究発展に貢献できればと祈念しております。今年も昨年と同様に会場運営を、本学卒業生で松本市インターンシップ事業に参加している地域総合研究センター 特別調査研究員にお手伝いいただきました。感謝申しあげます。

発表内容一覧

研究課題	発表者
MIN6β 細胞での SHARPs 遺伝子発現機構の解析	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 山田 一哉
地域の高齢者および百寿者研究	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 青木 雄次
不飽和脂肪酸摂取による短命化の機構解明	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 木藤 伸夫
糖新生抑制作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 高木 勝広
日本人における「低栄養食品 (high energy and low nutrient density foods)」の意味	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 廣田 直子
化繊過敏者に対する弱酸性ポリエステル繊維着用による抗かゆみ効果がもたらす深い睡眠効果の評価	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 健康栄養学科 弘田 量二
衰えない骨格筋をつくるための遅筋化メカニズム追究	大学院 健康科学研究科/人間健康学部 スポーツ健康学科 河野 史倫
農業分野における外国人就労の推進のための地域レベルでの戦略的支援体制の構築	総合経営学部 総合経営学科 成 香政
マルチマーケットチャネルにおける顧客行動に基づいた最適価格設定政策	総合経営学部 総合経営学科 田中 正敏
人口減少社会における社会教育財政構造に関する研究	総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 田開 寛太郎
適塩化食習慣を目的としたセルフモニタリングツール評価 (パイロット研究)	人間健康学部 健康栄養学科 平田 治美
地域資源を活用した事業化推進	人間健康学部 健康栄養学科 矢内 和博
リンゴPFASアルルゲンMal d 1の定量およびMal d 1 低発現リンゴの経口負荷試験	人間健康学部 健康栄養学科 沖嶋 直子
地方プロスポーツチームとの地域連携活動の推進	人間健康学部 健康栄養学科 長谷川 尋之
概日リズム調節因子・メラトニンは血糖上昇ホルモンとして肝臓に作用するか?	人間健康学部 健康栄養学科 浅野 公介
幼児の足趾圧と重心動揺に関する研究	人間健康学部 スポーツ健康学科 中島 弘毅
中強度レジスタンストレーニングが中高年者の生理的応答に及ぼす影響	人間健康学部 スポーツ健康学科 山本 薫
松本大学教職センターの充実を目指した教員養成指標の開発と適用	人間健康学部 スポーツ健康学科(教職センター) 山崎 保寿
地域住民参加型キャリア教育の実践	人間健康学部 スポーツ健康学科(教職センター) 山崎 保寿
小学校主権者教育におけるIATによる潜在的な女性観抽出	教育学部 学校教育学科 秋田 真
青年期のこころの発達とその支援	教育学部 学校教育学科 羽田 行男
共同目撃者間の話し合いによって同調が生じる要因の解明のための国際比較研究	教育学部 学校教育学科 守 一雄
論理的文章を「書く」指導の研究と授業改善—小学4年生における実践と報告—	教育学部 学校教育学科 國府田 祐子
ドローンを用いたプログラミング教材および体験学習プログラムの開発	教育学部 学校教育学科 澤柿 教淳
“Intercultural Implications For TBLT In A Private Japanese University”	教育学部 学校教育学科 マーケット・ジョーコリ
保幼小接続期におけるわらべうたの効果に関する実証研究	教育学部 学校教育学科 安藤 江里
戦時期日本における異質文化運動に関する研究	教育学部 学校教育学科 大蔵 真由美
学校数学の教科書における、小数の乗法の計算の仕方に関する説明の特徴	教育学部 学校教育学科 佐藤 茂太郎
虐待・非行行動と発達困難を併せもつ子どもの実態と発達支援の課題—児童心理治療施設、児童自立支援施設等の調査を通して—	教育学部 学校教育学科 内藤 千尋
小・中学生の英語力と英語学習に対する意識に関する研究	教育学部 学校教育学科 藤原 隆史
教育経営学研究における学校—地域関係論に関する研究	教育学部 学校教育学科 御代田 桜子
地域における実践的マーケティング活動とその教育効果	松商短期大学部 商学科 金子 能呼
運動習慣と反応時間について	松商短期大学部 商学科 川島 均
金融セーフティネット未整備期における破綻処理金融政策	松商短期大学部 経営情報学科 飯塚 徹

2020年度 科学研究助成事業に採択されている本学教員の研究

- 血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明**
大学院 健康科学研究科 高木 勝広 教授 ○期間: 2019年度~2021年度
- 弱酸性ポリエステル繊維の抗かゆみ効果がもたらす深い睡眠への評価と寝具への応用**
大学院 健康科学研究科 弘田 量二 教授 ○期間: 2019年度~2021年度
- 加熱調理中の音響モニタリングによる食品の品質評価に関する研究**
大学院 健康科学研究科 石原 三妃 准教授 ○期間: 2018年度~2020年度
- 運動による遺伝子構造リセット効果の検証**
大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間: 2019年度~2020年度
- 長時間の重力変化に対するマウス骨格筋の適応メカニズム研究**
大学院 健康科学研究科 河野 史倫 准教授 ○期間: 2019年度~2021年度
- 審判員のためのストレス対処モデルの構築**
大学院 健康科学研究科 齊藤 茂 准教授 ○期間: 2018年度~2020年度
- 海外進出中小企業の「出口戦略」—海外での新事業展開の可能性—**
総合経営学部 総合経営学科 兼村 智也 教授 ○期間: 2018年度~2020年度

- 概日リズム調節因子・メラトニンは血糖上昇ホルモンとして肝臓に作用するか?**
人間健康学部 健康栄養学科 浅野 公介 教授 ○期間: 2019年度~2021年度
- 主権者教育によって児童の女性観はどう変化するか: 潜在意識測定による地域ごとの検証**
教育学部 学校教育学科 秋田 真 教授 ○期間: 2018年度~2020年度
- 戦時期日本における異質文化運動に関する研究**
教育学部 学校教育学科 大蔵 真由美 専任講師 ○期間: 2019年度~2023年度
- グローバルケアチェーンにおける看取り—イタリアの外国人ケア労働者を事例として**
大学院 健康科学研究科 福島 智子 教授 ○期間: 2020年度~2023年度(初年度)
- 発達上の課題・困難を有する非行少年の実態と再非行防止・発達支援に関する調査研究**
教育学部 学校教育学科 内藤 千尋 専任講師 ○期間: 2020年度~2022年度(初年度)
- へき地教育における学校統廃合基準の日・英・NZ制度比較研究**
教育学部 学校教育学科 御代田 桜子 専任講師 ○期間: 2020年度~2023年度(初年度)
- 労働者のための休む技術尺度の開発および休暇取得とリカバリー経験との関係**
人間健康学部 スポーツ健康学科 熊谷 麻紀 助手 ○期間: 2020年度~2022年度(初年度)

各種検定試験及び資格取得試験受験状況

本学では下表のとおり、さまざまな技能検定試験や資格取得試験をサポートしています。今年3月に行われた管理栄養士国家試験では、受験生57名中51名が合格し、89.5%と高い合格率となりました。また、各学科のカリキュラムにより、受験または取得可能となる専門的な資格も多数あり、学科の学びや特色を活かして学生たちも積極的にチャレンジしています。



区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分			区分	実施回数	学部	区分		
			受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%				受験者数	合格者数	合格率%
日商簿記検定試験																	
1級	年2回	短大部	0	0	0.0%	Word		短大部	27	27	100.0%	2級総合	年3回	短大部	-	0	-
		学部	0	0	0.0%			学部	-	-	-			学部	-	1	-
2級	年3回	短大部	14	7	50.0%	Excel		短大部	57	54	94.7%	2級学科	年3回	短大部	1	0	0.0%
		学部	5	0	0.0%			学部	-	-	-			学部	1	1	100.0%
3級	年3回	短大部	140	53	37.9%	Powerpoint		短大部	23	23	100.0%	2級実技	年3回	短大部	1	0	0.0%
		学部	13	8	61.5%			学部	-	-	-			学部	2	2	100.0%
全経簿記能力検定試験																	
1級総合	年3回	短大部	-	11	-	1級	年4回	短大部	0	0	0.0%	3級総合	年3回	短大部	-	10	-
		学部	-	0	-			学部	2	2	100.0%			学部	-	1	-
1級会計	年3回	短大部	17	8	47.1%	2級	年4回	短大部	0	0	0.0%	3級学科	年3回	短大部	47	21	44.7%
		学部	1	0	0.0%			学部	31	28	90.3%			学部	1	1	100.0%
1級簿記	年3回	短大部	19	13	68.4%	ビジネス文書検定試験						3級実技	年3回	短大部	1	1	100.0%
		学部	2	0	0.0%	2級	年2回	短大部	9	8	88.9%			宅地建物取引主任者			
2級商業	年3回	短大部	26	15	57.7%			3級	年2回	短大部	0	0	0.0%	学部			-
		学部	0	0	0.0%	短大部	55			52	94.5%	総合旅行業務取扱管理者試験					
2級簿記	年3回	短大部	27	20	74.1%	サービス接遇検定試験						年1回	短大部	-	-	-	
		学部	0	0	0.0%	準1級	年2回	短大部	-	-	-		学部			-	-
3級	年3回	短大部	168	129	76.8%			2級	年2回	短大部	0	0	0.0%	国内旅行業務取扱管理者試験			
		学部	0	0	0.0%	学部	3			1	33.3%	年1回	短大部	-	-	-	
ITパスポート																	
基本情報技術者	年2回	短大部	-	2	-	3級	年2回	短大部	2	0	0.0%	販売士検定試験					
		学部	-	3	-			学部	0	0	0.0%	1級	年1回	短大部	-	-	-
応用情報技術者試験																	
情報処理技能(表計算)検定試験	年4回	短大部	40	27	67.5%	秘書検定試験						2級	年1回	短大部	1	0	0.0%
		学部	1	1	100.0%	準1級	年2回	短大部	-	-	-			学部	1	1	100.0%
1級	年4回	短大部	145	89	61.4%			2級	年3回	短大部	8	2	25.0%	3級	年2回	短大部	27
		学部	61	44	72.1%	短大部	1			0	0.0%	学部	23			16	69.6%
2級	年4回	短大部	169	129	76.3%	アソシエイトブライドルコーディネーターASS検定						第一種衛生管理者					
		学部	301	251	83.4%	年1回	短大部	8	5	62.5%	学部			-	67	-	
3級	年4回	短大部	59	53	89.8%		2級	年2回	短大部	0	0	0.0%	健康運動指導士				
		学部	0	0	0.0%	学部			0	0	0.0%	年2回	短大部	22	16	72.7%	
情報処理技能(データベース)検定試験																	
1級	年4回	短大部	10	10	100.0%	日本漢字能力検定						健康運動実践指導者					
		学部	1	1	100.0%	2級	年3回	短大部	-	0	-	年1回	短大部	17	12	70.6%	
2級	年4回	短大部	26	24	92.3%			準2級	年3回	短大部	-		0	-	レクリエーション・インストラクター		
		学部	0	0	0.0%	短大部	-			0	-	年1回	短大部	5	5	100.0%	
3級	年4回	短大部	7	7	100.0%	保健師国家試験(歯科)							レクリエーション・コーディネーター				
		学部	1	1	100.0%	年1回	短大部	-	12	-	年1回	短大部	2	2	100.0%		
文書デザイン検定試験																	
1級	年4回	短大部	6	4	66.7%	医療事務コンピュータ能力検定試験						自然体験活動(NEAL)指導者					
		学部	1	1	100.0%	年1回	短大部	-	0	-	年1回	短大部	2	2	100.0%		
2級	年4回	短大部	3	2	66.7%		メディカルマナー検定試験						トレーニング指導者				
		学部	1	0	0.0%	年1回	短大部	-	0	-	年1回	短大部	2	1	50.0%		
ホームページ作成検定																	
1級	年4回	短大部	6	4	66.7%	福祉住環境コーディネーター						フードスペシャリスト					
		学部	1	1	100.0%	3級	年2回	短大部	-	1	-	年1回	短大部	53	51	96.2%	
2級	年4回	短大部	0	0	0.0%			介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)						管理栄養士			
		学部	44	40	90.9%	2級	年1回	短大部	-	2	-	年1回	短大部	57	51	89.5%	
日本語ワープロ検定試験																	
初段	年4回	短大部	0	0	0.0%	行政書士						栄養士					
		学部	0	0	0.0%	2級	年1回	短大部	-	-	-	年1回	短大部	-	68	-	
1級	年4回	短大部	12	3	25.0%			介護報酬請求事務技能検定試験						食品衛生管理者・食品衛生監視員			
		学部	4	1	25.0%	2級	年1回	短大部	-	7	-	年1回	短大部	-	38	-	
準1級	年4回	短大部	20	6	30.0%			医療事務検定試験						高等学校教諭			
		学部	1	0	0.0%	2級	年1回	短大部	-	-	-	年1回	短大部	-	3	-	
2級	年4回	短大部	58	26	44.8%			福祉住環境コーディネーター						中学校教諭			
		学部	13	9	69.2%	3級	年2回	短大部	-	1	-	年1回	短大部	-	3	-	
準2級	年4回	短大部	73	37	50.7%			介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)						栄養士			
		学部	72	43	59.7%	2級	年1回	短大部	-	2	-	年1回	短大部	-	4	-	
3級	年4回	短大部	64	44	68.8%			行政書士						養護教諭			
		学部	37	19	51.4%	2級	年1回	短大部	-	-	-	年1回	短大部	-	0	-	
日商簿記検定試験																	
1級	年4回	短大部	6	4	66.7%	介護報酬請求事務技能検定試験						司書教諭					
		学部	1	1	100.0%	年6回	短大部	-	6	-	年6回	短大部	-	1	-		
2級	年4回	短大部	3	2	66.7%		医療事務検定試験						社会福祉士				
		学部	1	0	0.0%	年12回	短大部	-	0	-	年1回	短大部	6	1	16.7%		
ホームページ作成検定																	
1級	年4回	短大部	6	4	66.7%	レセプト点検業務技能検定試験						学芸員					
		学部	1	1	100.0%	年12回	短大部	-	58	-	年1回	短大部	-	7	-		
2級	年4回	短大部	0	0	0.0%		メディカルマナー検定試験						図書館司書				
		学部	44	40	90.9%	年1回	短大部	-	-	-	年1回	短大部	-	19	-		
日本語ワープロ検定試験																	
初段	年4回	短大部	0	0	0.0%	福祉住環境コーディネーター						証券外務員					
		学部	0	0	0.0%	3級	年2回	短大部	-	1	-	一種	短大部	-	8	-	
1級	年4回	短大部	12	3	25.0%			介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)						二種	学部	-	0
		学部	4	1	25.0%	2級	年1回	短大部	-	2	-	年1回	短大部		-	1	-
準1級	年4回	短大部	20	6	30.0%			行政書士						一種	学部	-	1
		学部	1	0	0.0%	2級	年1回	短大部	-	7	-	年1回	短大部		-	1	-
2級	年4回	短大部	58	26	44.8%			介護報酬請求事務技能検定試験						一種	学部	-	1
		学部	13	9	69.2%	2級	年1回	短大部	-	-	-	年1回	短大部		-	0	-
準2級	年4回	短大部	73	37	50.7%			医療事務検定試験						一種	学部	-	0
		学部	72	43	59.7%	年12回	短大部	-	0	-	年1回	短大部	-		3	-	
3級	年4回	短大部	64	44	68.8%		レセプト点検業務技能検定試験						一種	学部	-	3	-
		学部	37	19	51.4%	年12回	短大部	-	18	-	年1回	短大部		-	19	-	

※外部試験については応募者数・受験者数不明のため「-」とし、自己申請による合格者数のみ記載しています。

決算報告

松本大学では、ここ3年間、2017年4月に開設した教育学部の学生数の増加に対応するため、教育学部棟8号館建設や第3学生駐車場造成、学生レストランとCOMMONルームを主とする学生厚生棟9号館の建設を行い、大規模な設備投資を計画的に進めてきました。

2019年度においては、大学開設から18年目を迎え、既存の設備の修繕の必要性が高まっていたことから、野球場防球ネット補修工事やWi-Fi環境拡充工事、駐車場ゲートシステムの更新工事など、主として既存設備の修繕に取り組んできました。また、全校舎の建物点検に着手し、中長期

修繕計画の策定を進めてきました。今後、順次各校舎の建物および設備の修繕と更新を計画的に進めていく予定です。

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症に起因し、本学を取り巻く環境も大きく変化しました。学事暦で計画していた学位授与式や新入生のための入学前の諸行事のほとんどを規模縮小による実施、あるいは中止せざるを得ませんでした。

2019年度の学生数については、松本大学および松本大学松商短期大学部共に、収容定員を上回る結果となり、安定した学生生徒等納付金収入により、予算に基づく教育活動の実施に必要な資金を確保することができました。

教育学部の学年進捗が3学年まで進み、全学の学生数は2,100名を超え、収入から人件費や教育研究経費、管理経費、減価償却額等を差し引いた教

学校法人 松商学園

財産目録 令和2年3月31日 (単位 円)

1. 資産 総額	15,417,501,376
(1) 基本財産	11,264,158,765
(2) 運用財産	4,153,342,611
2. 負債 総額	1,768,832,939
(1) 固定負債	806,996,533
(2) 流動負債	961,836,406
3. 正味財産	13,648,668,437

摘要	金額 (単位 円)
資産の部	11,264,158,765
基本財産	11,264,158,765
土地	423,287㎡ 2,566,554,352
松本市南3-6-1	44,647㎡ 280,080,548
松本市南行2095-1	65,405㎡ 1,738,574,944
松本市埋蔵2-1-1	11,134㎡ 525,156,268
松本市瑞穂2丁目2952-3	202㎡ 839,536
松本市瑞穂4丁目2952-10	969㎡ 4,020,676
松本市瑞穂4丁目2438	442㎡ 7,848,217
松本市青島新町1-213	6,641㎡ 964,163
松本市浅間温泉	183,662㎡ 4,070,000
東筑摩郡筑北村乱麻花川原961	110,184㎡ 5,000,000
建物	64,080.70㎡ 7,337,419,348
学校法人	473.70㎡ 2
松本大学	4,655,953.435㎡ 25,999,94㎡
松本大学松商短期大学部	7,021.34㎡ 374,975,975
松商学園高等学校	21,816.12㎡ 1,388,176,647
松本秀峰中等教育学校	8,769.60㎡ 918,313,289
構築物	404,155.143 404,155,143
図書	538,784,800
教育研究用機器備品	364,188,932
管理用機器備品	44,619,330
車輦	2,496,860
建設仮勘定	5,940,000
運用財産	4,153,342,611
現金預金	2,975,645,661
修学旅行費預り資産	32,103,500
第2号基本金引当特定資産	570,000,000
第3号基本金引当特定資産	168,472,896
退職給付引当特定資産	150,000,000
施設拡充引当特定資産	35,000,000
奨学金引当特定資産	6,143,800
有価証券	6,488,630
未収入金	161,421,637
電話加入権	1,395,572
ソフトウェア	25,504,915
出資金	200,000
基金拠出金	3,000,000
差入敷金保証金	17,966,000
資産 総額	15,417,501,376

摘要	金額 (単位 円)
負債の部	1,768,832,939
固定負債	806,996,533
長期借入金	500,000,000
退職給付引当金	306,996,533
流動負債	961,836,406
未払金	249,875,882
前受金	659,549,950
預り金	20,307,074
修学旅行費預り金	32,103,500
負債 総額	1,768,832,939

正味財産 (資産総額 - 負債総額) 13,648,668,437

貸借対照表 令和2年3月31日

資産の部	科目	本年度末	前年度末	増 減	(単位 円)
固定資産		12,248,330,578	12,302,430,367	△ 54,099,789	
有形固定資産		11,264,158,765	11,659,217,346	△ 395,058,581	
土地		2,566,554,352	2,538,164,134	28,390,218	
建物		7,337,419,348	7,648,243,720	△ 310,824,372	
構築物		404,155,143	441,800,417	△ 37,645,274	
教育研究用機器備品		364,188,932	437,060,847	△ 72,871,915	
管理用機器備品		44,619,330	47,237,978	△ 2,618,648	
図書		538,784,800	543,627,103	△ 4,842,303	
車輦		2,496,860	3,083,147	△ 586,287	
建設仮勘定		5,940,000	0	5,940,000	
特定資産		929,616,696	579,606,356	350,010,340	
第2号基本金引当特定資産		570,000,000	0	570,000,000	
第3号基本金引当特定資産		168,472,896	168,312,896	160,000	
退職給付引当特定資産		150,000,000	150,000,000	0	
施設拡充引当特定資産		35,000,000	254,364,860	△ 219,364,860	
奨学金引当特定資産		6,143,800	6,928,600	△ 784,800	
その他の固定資産		54,555,117	63,606,665	△ 9,051,548	
電話加入権		1,395,572	1,395,572	0	
ソフトウェア		25,504,915	34,556,463	△ 9,051,548	
有価証券		6,488,630	6,488,630	0	
出資金		200,000	200,000	0	
基金拠出金		3,000,000	3,000,000	0	
差入敷金保証金		17,966,000	17,966,000	0	
流動資産		3,169,170,798	3,229,342,752	△ 60,171,954	
現金預金		2,975,645,661	3,018,218,136	△ 42,572,475	
修学旅行費預り資産		32,103,500	31,317,000	786,500	
未収入金		161,421,637	179,807,616	△ 18,385,979	
資産の部合計		15,417,501,376	15,531,773,119	△ 114,271,743	

負債の部	科目	本年度末	前年度末	増 減	(単位 円)
固定負債		806,996,533	822,128,257	△ 15,131,724	
長期借入金		500,000,000	500,000,000	0	
退職給付引当金		306,996,533	322,128,257	△ 15,131,724	
流動負債		961,836,406	1,243,383,002	△ 281,546,596	
未払金		249,875,882	514,354,853	△ 264,478,971	
前受金		659,549,950	677,072,450	△ 17,522,500	
預り金		20,307,074	20,638,699	△ 331,625	
修学旅行費預り金		32,103,500	31,317,000	786,500	
負債の部合計		1,768,832,939	2,065,511,259	△ 296,678,320	

純資産の部	科目	本年度末	前年度末	増 減	(単位 円)
基本金		20,202,547,953	19,565,798,895	636,749,058	
第1号基本金		19,162,075,057	19,095,485,999	66,589,058	
第2号基本金		570,000,000	0	570,000,000	
第3号基本金		168,472,896	168,312,896	160,000	
第4号基本金		302,000,000	302,000,000	0	
繰越収支差額		△ 6,553,879,516	△ 6,099,537,035	△ 454,342,481	
年度繰越収支差額		△ 6,553,879,516	△ 6,099,537,035	△ 454,342,481	
純資産の部合計		13,648,668,437	13,466,261,860	182,406,577	

科 目	本年度末	前年度末	増 減	(単位 円)
負債及び純資産の部合計	15,417,501,376	15,531,773,119	△ 114,271,743	

資金収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

収入の部	科目	予算	決算	差異	(単位 円)
収入の部					
学生生徒等納付金収入		3,425,362,000	3,425,304,762	57,238	
手数料収入		51,441,000	54,507,255	△ 3,066,255	
寄付金収入		49,006,000	52,231,366	△ 3,225,366	
補助金収入		1,012,543,000	1,024,043,754	△ 11,500,754	
資産売却収入		0	0	0	
付随事業・収益事業収入		140,267,000	142,874,852	△ 2,607,852	
受取利息・配当金収入		1,460,000	1,920,057	△ 460,057	
雑収入		203,827,000	207,323,626	△ 3,496,626	
借入金等収入		0	0	0	
前受金収入		632,545,000	659,549,950	△ 27,004,950	
その他の収入		415,672,000	415,697,445	△ 25,445	
資金収入調整勘定		△ 840,823,000	△ 838,234,256	△ 2,588,744	
前年度繰越支払資金		3,018,215,000	3,018,218,136		
収入の部合計		8,109,515,000	8,163,436,947	△ 53,921,947	

支出の部	科目	予算	決算	差異	(単位 円)
支出の部					
人件費支出		2,893,502,000	2,833,411,564	60,090,436	
教育研究経費支出		1,162,448,000	1,049,301,201	113,146,799	
管理経費支出		388,934,000	338,202,021	50,731,979	
借入金等返済支出		1,550,000	1,511,950	38,050	
借入金等返済支出		0	0	0	
施設関係支出		50,742,000	39,846,818	10,895,182	
設備関係支出		77,815,000	74,547,136	3,267,864	
資産運用支出		604,160,000	586,160,000	18,000,000	
その他の支出		520,041,000	514,686,478	5,354,522	
(予備費)		10,000,000	10,000,000	0	
資金支出調整勘定		△ 199,933,000	△ 249,875,882	49,942,882	
前年度繰越支払資金		2,600,256,000	2,975,645,661	△ 375,389,661	
支出の部合計		8,109,515,000	8,163,436,947	△ 53,921,947	

事業活動収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

教育活動収支	科目	予算	決算	差異	(単位 円)
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金		3,425,362,000	3,425,304,762	57,238	
手数料		51,441,000	54,507,255	△ 3,066,255	
寄付金		49,006,000	50,864,366	△ 1,958,366	
経常費等補助金		1,012,543,000	1,024,043,754	△ 11,500,754	
付随事業収入		140,267,000	142,874,852	△ 2,607,852	
雑収入		203,827,000	207,323,626	△ 3,496,626	
教育活動収入計		4,882,346,000	4,904,918,615	△ 22,572,615	
事業活動支出の部					
人件費		2,879,239,000	2,818,279,840	60,959,160	
教育研究経費		1,629,948,000	1,515,738,978	114,209,022	
管理経費		424,734,000	373,971,671	50,762,329	
借取不能額等		0	0	0	
教育活動外支出計		4,933,921,000	4,707,990,489	225,930,511	
教育活動収支差額		△ 51,575,000	196,928,126	△ 248,503,126	

教育活動外収支	科目	予算	決算	差異	(単位 円)
事業活動外収入の部					
受取利息・配当金		1,460,000	1,920,057	△ 460,057	
その他の教育活動外収入		0	0	0	
教育活動外収入計		1,460,000	1,920,057	△ 460,057	
事業活動外支出の部					
借入金等返済		1,550,000	1,511,950	38,050	
その他の教育活動外支出		0	0	0	
教育活動外支出計		1,550,000	1,511,950	38,050	
教育活動外収支差額		△ 90,000	408,107	△ 498,107	
科 目	予算	決算	差異		
経常収支差額	△ 51,665,000	197,336,233	△ 249,001,233		

育活動収支差額は、大学全体で214,333千円(大学:157,095千円、短大部:57,238千円)の収入超過となり、収支バランスが取れた形になりました。

2019年度経常費補助金については、特別補助金による増額を図ることができたこともあり、大学で前年比19,469千円増の291,375千円、短期大学部で9,171千円増の72,367千円と伸び、総額は363,742千円でした。

また、9号館建設費、学生活動支援費として、松本大学同窓会から16,500千円、松本大学後援会から3,300千円の寄付をいただきました。

なお、松商学園高等学校、松本秀峰中等教育学校を含めた学園全体でも、事業活動全体(教育活動・教育活動外)における経常収支差額は197,336千円の収入超過であり、学校法人松商学園として収支のバランスのとれた健全な決算内容となりました。(松本大学事務局長 柴田 幸一)

特別収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	100,000	1,653,000	△ 1,553,000
特別収入計	100,000	1,653,000	△ 1,553,000
事業活動支出の部			
資産処分差額	1,110,000	16,582,656	△ 15,472,656
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	1,110,000	16,582,656	△ 15,472,656
特別収支差額	△ 1,010,000	△ 14,929,656	13,919,656

科 目	予 算	決 算	差 異
[予備費]	10,000,000		10,000,000

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	△ 62,675,000	182,406,577	△ 245,081,577
基本金組入額合計	△ 969,763,000	△ 636,749,058	△ 333,013,942
当年度収支差額	△ 1,032,438,000	△ 454,342,481	△ 578,095,519
前年度繰越収支差額	△ 6,099,538,000	△ 6,099,537,035	965
翌年度繰越収支差額	△ 7,131,976,000	△ 6,553,879,516	△ 578,096,484

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	4,883,906,000	4,908,491,672	△ 24,585,672
事業活動支出計	4,946,581,000	4,726,085,095	220,495,905

松本大学

資金収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

収入の部 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,940,805,000	1,941,597,339	△ 792,339
手数料収入	30,131,000	32,917,303	△ 2,786,303
寄付金収入	23,299,000	28,143,892	△ 4,844,892
補助金収入	294,170,000	295,997,528	△ 1,827,528
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	108,314,000	111,834,199	△ 3,520,199
受取利息・配当金収入	0	0	0
雑収入	41,639,000	46,761,548	△ 5,122,548
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	344,325,000	368,094,950	△ 23,769,950
その他の収入	294,793,000	294,668,333	124,667
資金収支調整勘定	△ 395,658,000	△ 396,298,705	640,705
前年度繰越収支差額	△ 1,214,094,000	△ 1,214,092,795	
収入の部合計	1,467,724,000	1,509,623,592	△ 41,899,592

支出の部 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,224,218,000	1,189,876,065	34,341,935
教育研究経費支出	656,793,000	590,242,400	66,550,600
管理経費支出	228,912,000	203,965,153	24,946,847
借入金等利息支出	1,550,000	1,511,950	38,050
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	38,852,000	36,981,410	1,870,590
資産運用支出	0	7,600,000	△ 7,600,000
その他の支出	363,700,000	363,597,222	102,778
(予備費)	4,000,000		4,000,000
資金支出調整勘定	△ 29,700,000	△ 68,491,091	38,791,091
翌年度繰越収支差額	△ 1,020,601,000	△ 353,872,072	△ 1,374,473,072
支出の部合計	1,467,724,000	2,679,155,181	△ 1,211,431,181

事業活動収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

教育活動収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,940,805,000	1,941,597,339	△ 792,339
手数料	30,131,000	32,917,303	△ 2,786,303
寄付金	23,299,000	28,143,892	△ 4,844,892
経常費等補助金	294,170,000	295,997,528	△ 1,827,528
付随事業収入	108,314,000	111,834,199	△ 3,520,199
雑収入	41,639,000	46,761,548	△ 5,122,548
教育活動収入計	2,438,358,000	2,457,251,809	△ 18,893,809
事業活動支出の部			
人件費	1,230,528,000	1,194,865,619	35,662,381
教育研究経費	936,293,000	869,325,742	66,967,258
管理経費	260,812,000	235,965,526	24,846,474
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	2,427,633,000	2,300,156,887	127,476,113
教育活動収支差額	10,725,000	157,094,922	△ 146,369,922

教育活動外収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	0	0	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
借入金等利息	1,550,000	1,511,950	38,050
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	1,550,000	1,511,950	38,050
教育活動外収支差額	△ 1,550,000	△ 1,511,950	38,050
経常収支差額	9,175,000	155,582,972	△ 146,407,972

特別収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	286,000	0
特別収入計	0	286,000	0
事業活動支出の部			
資産処分差額	240,000	6,321,977	△ 6,081,977
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	240,000	6,321,977	△ 6,081,977
特別収支差額	△ 240,000	△ 6,035,977	5,795,977

科 目	予 算	決 算	差 異
[予備費]	4,000,000		4,000,000

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	4,935,000	149,546,995	△ 144,611,995
基本金組入額合計	△ 275,824,000	△ 121,849,631	△ 153,974,369
当年度収支差額	△ 270,889,000	27,697,364	△ 298,586,364
前年度繰越収支差額	△ 1,367,748,000	0	△ 1,367,748,000
翌年度繰越収支差額	△ 1,638,637,000	27,697,364	△ 1,666,334,364

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	2,438,358,000	2,457,537,809	△ 19,179,809
事業活動支出計	2,433,423,000	2,307,990,814	125,432,186

松本大学松商短期大学部

資金収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

収入の部 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	448,514,000	449,072,498	△ 558,498
手数料収入	7,616,000	7,630,252	△ 14,252
寄付金収入	1,450,000	1,535,974	△ 85,974
補助金収入	78,384,000	80,751,840	△ 2,367,840
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,354,000	2,299,308	54,692
受取利息・配当金収入	0	0	0
雑収入	38,814,000	35,730,105	3,083,895
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	140,300,000	141,235,000	△ 935,000
その他の収入	24,000	26,590	2,590
資金収支調整勘定	△ 168,395,000	△ 164,351,625	4,043,375
前年度繰越収支差額	2,949,740,000	2,949,740,546	
収入の部合計	3,498,801,000	3,503,670,488	△ 4,869,488

支出の部 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	323,041,000	315,399,837	7,641,163
教育研究経費支出	158,543,000	144,224,402	14,318,598
管理経費支出	36,962,000	31,824,301	5,137,699
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	8,371,000	8,346,775	24,225
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	12,975,000	12,966,098	8,902
(予備費)	2,000,000		2,000,000
資金支出調整勘定	△ 33,800,000	△ 42,599,259	8,799,259
前年度繰越収支差額	2,990,709,000	1,027,508,334	1,963,200,666
支出の部合計	3,498,801,000	1,497,670,488	2,001,130,512

事業活動収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

教育活動収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
学生生徒等納付金	448,514,000	449,072,498	△ 558,498
手数料	7,616,000	7,630,252	△ 14,252
寄付金	1,450,000	1,535,974	△ 85,974
経常費等補助金	78,384,000	80,751,840	△ 2,367,840
付随事業収入	2,354,000	2,299,308	54,692
雑収入	38,814,000	35,730,105	3,083,895
教育活動収入計	577,132,000	577,019,977	112,023
事業活動支出の部			
人件費	308,481,000	301,499,810	6,981,190
教育研究経費	200,743,000	186,458,289	14,284,711
管理経費	36,962,000	31,824,301	5,137,699
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	546,186,000	519,782,400	26,403,600
教育活動収支差額	30,946,000	57,237,577	△ 26,291,577

教育活動外収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	0	0	0
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	0	0	0
経常収支差額	30,946,000	57,237,577	△ 26,291,577

特別収支 (単位 円)			
科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	0	0	0
特別収入計	0	0	0
事業活動支出の部			
資産処分差額	520,000	9,558,647	△ 9,038,647
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	520,000	9,558,647	△ 9,038,647
特別収支差額	△ 520,000	△ 9,558,647	9,038,647
(予備費)	2,000,000		2,000,000

科 目	予 算	決 算	差 異
基本金組入前当年度収支差額	28,426,000	47,678,930	△ 19,252,930
基本金組入額合計	△ 8,442,000	75,730,092	△ 84,172,092
当年度収支差額	19,984,000	123,409,022	△ 103,425,022
前年度繰越収支差額	1,659,472,000	0	1,659,472,000
翌年度繰越収支差額	1,679,456,000	123,409,022	1,556,046,978

科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入計	577,132,000	577,019,977	112,023
事業活動支出計	548,706,000	529,341,047	19,364,953

地域連携活動

地域づくり考房『ゆめ』

学生たちの活動再開を願い、栄村と四賀地区を訪問

現在、地域づくり考房『ゆめ』の学生プロジェクトメンバーは、地域に出て活動することができておりません。そのような状況の中でも、今まで関わった地域の方や子供たちに少しでも元気になってもらおうと、学生たちが「お手紙プロジェクト」を実施しました。子どもからお年寄りまで地域の中でかかわっている方々を思い



浮かべながら手紙を書いたところ、すぐに御礼のお返事をいただきました。早く顔を見て話ができることを、学生も地域の皆さんも願っていることを強く感じました。

また、『ゆめ』の職員で、学生たちの活動が再開した時のために、現在地域連携活動を継続している下水内郡栄村と、今年度新事業の「ワンチームプロジェクト」で訪問予定の松本市四賀地区を訪れ、地域の皆さんの声や風景を撮影し、学生に映像で伝える取り組みをしました。



訪問した栄村と四賀地区は、爽やかな新緑の山々と青い空、鳥の声、そして、そこには住民の温かい笑顔がありました。そんな地域で学生が安心して活動できる日が早く来ることを望まずにはいられない訪問でした。

(地域づくり考房『ゆめ』 専門員 山岸 勝子)

地域健康支援ステーション

Twitter始めました!

～休校中の学生や地域住民の皆さんの健康づくりを支援～

地域健康支援ステーションでは、4月よりTwitterを使った動画発信を始めました。運動と栄養をテーマに週3回程度配信しています。

運動では、健康運動指導士による「おうちでできるエクササイズ」として、特別な道具を用いずに簡単に取り組めるものを考え、構成は【ストレッチ編】と【筋トレ編】に分けて、部位別に効果が得られやすいように作成しています。

栄養では、管理栄養士による「簡単お手軽レシピ」として、コンビニエンスストアなどで購入できる食材を使って、栄養バランスよく食べられる手軽な料理をご紹介します。コンビニの食材は、冷凍野菜など袋を開けてすぐ使える食材が1～2人分ずつパックされていることから、面倒な計量や下ごしらえが不要です。料理初心者にも失敗の少ないメニューの紹介を心がけています。

(健康運動指導士 近藤 壮太/管理栄養士 飯澤 裕美)



効果を確認しながら動画配信の準備



カメラの角度も意識しながらレシピ動画を作成

松本大学地域健康支援ステーションTwitter (@station_matsu) は

[こちらから](#) →



スポーツ健康学科卒業生(現大学院生)の卒業論文がアメリカの科学誌に掲載

大学院健康科学研究科・スポーツ健康学科 准教授 河野 史倫

習慣的な運動によって獲得した運動効果が“遺伝子の変化”として骨格筋に残る『エピジェネティクス』という仕組みが知られています。運動によってどのようにエピジェネティクスが起こるのかを解明するために、ヒト骨格筋サンプルの解析をおこないました。

韓国体育大学校 Chang Keun Kim 教授との共同研究により、急性のレジスタンス運動



または慢性的なレジスタンス(高強度)トレーニング前後のヒト骨格筋サンプルを取得しました。解析の結果、「レジスタンス運動の直後では、筋発達、ストレス応答、代謝に関連する遺伝子の発現が顕著に高まること」、「レジスタンストレーニングによってヒストン修飾に変化が生じ、遺伝子の発現が高まりやすい状態になったこと」を明らかにし、アメリカの科学誌「PLOS ONE」に発表しました。

以上の結果は、繰り返しの運動により運動に対する骨格筋の応答が良くなることを意味します。骨格筋における運動効果の獲得にも密接な関係があると考えられます。慢性的な運動の影響が遺伝子の変化として骨格筋に残り運動効果を高めることも、運動を継

続するメリットと言えます。

この研究は、スポーツ健康学科の2019年度卒業生・清水純也さん(現大学院生)の卒業研究として実施しました。スポーツ科学における新しい発見があっただけでなく、研究での国際交流を行えたことも大きな収穫となりました。

他にも3名の教員の論文が取り上げられました。

- 健康栄養学科の浅野 公介助手の論文が、国際学術誌[Biochemistry and Biophysics Reports]に掲載されました。
- 学校教育学科の守一雄教授の国際共著論文が、認知に関わる応用研究学術誌の「Applied Cognitive Psychology」に公開されました。
- 松商短期大学の藤波大三郎教授の論文が、月刊誌「FPジャーナル」に掲載されました。

Pick Up

地域社会への知の還元を目指し、ラジオパーソナリティーとして情報番組を担当

FMまつもと「おはよう791」(毎週水曜日 朝7時～9時)

大学院健康科学研究科 清水 純也

今年4月からラジオパーソナリティーとして、FMまつもと朝の情報番組「おはよう791」の水曜日を担当しています。私は学部時代から骨格筋生理学研究をしており、今春入学した健康科学研究科では、さらにそれを掘り下げていきたいと考えています。同時に、その専門性を活かしたいと思い、ご縁があってこの番組を任せていただきました。

番組内では、健康科学の知見・情報を紹介するコーナー「791研究室」を設けました。このコーナーは健康情報をオープンアクセス論文等から引用し、リスナーへお届けしています。また、リスナーとの双方向的なやり取りも生放送ラジオの魅力の一つです。今後は、番組制作を通し、大学から地域社会への知の還元を目指します。

村瀬組から100万円の寄付 学生支援に役立てて

2020年4月、株式会社村瀬組(松本市)から松本大学に100万円の寄付をいただきました。「学生支援の活動に役立てて」と、同社代表取締役の村瀬直美氏から住吉学長に手渡されました。

これまでも同社からは、国際交流活動やサッカー一部の支援金として継続して寄付をいただいています。今回の寄付は、サッカー一部への支援とは別に、学生支援のためにいただいたものです。



村瀬氏は、本学が包括的な大学間協定を締結している義守大学(台湾高雄市)との交流にも深い理解を示され、これまで大学間の学生交流や、義守大学の学生に対する海外インターンシップの受入れにも積極的に関わっていただきました。

2019年度には、50名を超える本学の学生が英語圏やアジアの大学に留学し、多くの学生が世界に目を向けています。また、学内では海外からの留学生との交流も活発化し、地域の国際交流イベントへの参加者も増加しています。

学生の海外研修をはじめとする国際交流事業や学生支援の諸活動に、この度の寄付金を活用していきます。

(事務局長 柴田 幸一)

動物慰霊祭を執り行いました

松本大学「動物慰霊祭」を5月20日、6号館東側の慰霊碑前で行いました。本学では研究・教育の目的で動物実験を実施しており、研究者や学生にとって非常に有意義な研究成果・教育効果をもたらしています。昨年度の実験においても、動物実験以外の代替え手段をまず検討する、必要最小限の動物数を用いる、実験動物への苦痛を最小限にとどめる、という“3Rの原則”が教員・学生全員に周知され、適正に遵守されたことを報告しました。実験動物たちの尊い命に報いる



ためにも、研究成果が社会に発信され、一般社会に役立てるよう努めなければならないと再認識しました。今後も動物愛護と動物福祉の精神を持ち、適正に動物実験を実施することを誓いつつ、犠牲になった動物たちに感謝と敬意を表するとともに、慰霊と哀悼の意を捧げました。

(研究倫理委員長 河野 史倫)

2019年度学長賞 ～教職員を表彰～

2019年度学長賞の表彰者と表彰理由は次のとおりです。▽**山根宏文教授**(観光ホスピタリティ学科):チャリティ・イベントとしてフラ・イズ・アロハを開催し、本学東日本大震災災害支援活動への財政的バックアップに貢献。まち・むらおこしに関する地域活性化への取り組み。▽**河野史倫准教授**(大学院健康科学研究科):赴任早々から多種類・多数の

科学研究費補助金を獲得し、本学の研究活動活性化を促進。大学院の海外からの社会人入学受け入れにも尽力。▽**藤波大三郎教授**(松商短期大学部経営情報学科):短期大学部における金融関係教育体系を確立し、短大生の就職実績の向上とそれを活かした学生募集活動への貢献。▽**水野尚子助手**(健康栄養学科):栄養バランスの取れた食事の習慣化を促すランチョンマットで本学初の特許取得。長野県栄養士会中信支部長としての活躍や、人間健康学部開設当初から、健康栄養学科の助手のま

とめ役として尽力。強化部対象の栄養指導と食生活改善への取り組み。ソングクラブの活動を通して、学生の社会性を涵養。

事務職員の「ベスト・スタッフ・オブ・ザ・イヤー賞」には、**入試広報室**が選ばれました。2020年度入学生の学生募集の結果、4年ぶりに全学部全学科に入学定員を上回る学生を確保できたこと。オープンキャンパスの運営方法や業者主催の説明会参加数を見直し、同等以上の効果を生み出す工夫をしたことなどが評価されました。

新鮮な朝採り野菜を販売

農園で野菜作りを始めて今年で3年目になります。日頃の地域の方とのコミュニケーションが縁で、今年は大学のすぐ近くにも畑を借りることができました。西の畑と東の

畑で、作付面積が昨年の倍になり、野菜の種類も40種類以上に増え、無農薬、有機栽培を目指しています。「おいしかったよ」の言葉を励みに、今年も美味しい野菜を作って朝採りの新鮮な野菜をたくさん販売する予定です。新鮮な野菜を食べて、新型コロナウイルスに負けないように頑張りましょう。(総務課農園管理 横山 泰子)



部活動情報 Club・Circle

男子サッカー部、株式会社村瀬組とスポンサー契約を継続

4月24日、男子サッカー部は株式会社村瀬組と、2020シーズンのスポンサー契約を継続させていただきました。同社からは強化費として年間のスポンサー料をいただき、選手たちの練



習用ユニフォームの背中、公式ホームページ、及び公式戦の際、グラウンドに、同社のパナー広告(写真)を設置させていただいております。

今シーズンは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、前期の北信越大学サッカーリーグ戦、及び総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントが相次いで中止となりました。なかなか活動再開の見通しも立たず、トレーニングす

らできない状況が続いていた中、同社の村瀬直美社長から「今は我慢する時です、今蓄えたエネルギーを次の戦いで発散してください」という温かく、勇気づけられるメッセージをいただきました。この言葉に支えられ、部員たちと次の戦いのための準備をしながら、「充実した我慢の時」を過ごすことができました。

株式会社村瀬組の皆様、今シーズンも引き続きよろしくお願いたします。

(男子サッカー部 部長兼監督 齊藤 茂)

4月より活動停止となっていた本学の部活動も、6月13日(土)から一部再開されました。厳格な管理体制のもと、時間短縮や人数制限、指導者による管理

の徹底などさまざまなことに留意しながら練習を始めています。静かだった学内も学生たちの声が聞こえるようになり、少しずつ活気が戻ってきました。

「キャリア教育が創出する新たな教育環境 —地域連携で生み出す主体性と価値—」



山崎 保寿 著

定価/2,200円+ (消費税別)

本のサイズ/A5版、並製本、本文282頁

流動と新生の時代に突入した我が国では、児童生徒の将来を生きる力を育てることが、学校教育の重要な課題になっています。この課題に対して、児童生徒が自らの進路を主体的に選択・決定していくキャリア教育の推進が求められています。

本書は、キャリア教育の理論を説明したうえで、地域連携型で進める新しいキャリア教育のモデルを示し、それを実践した効果について実証的に明らかにしたものです。

本書の特徴は、キャリア教育の考え方、理論、テーマ、実践方法、教員研修など、学生、教員、管理職、教育行政職にある人々が最も必要としている内容を総合的に解説し、新しい地域連携型キャリア教育の具体的方法を提示し

ていることです。また、小学生の「親子で夢づくり講座」、中学生の「将来ビジョンマップ」の作成を地域住民が支援する方法や、これを推進拡大していく方策を示していることです。さらに、新学習指導要領で重視されている主権者教育、カリキュラム・マネジメント、「社会に開かれた教育課程」の考えなどについても、キャリア教育を視点に明解に論述しています。

そして、本書最後の第9章では、「松本大学教職センターにおける教員養成とキャリア教育」と題して、教員養成の内容を大学生のキャリア形成の視点から考察し、カリキュラムの分析と帰納的教育手法の考え方に立つ教員養成のグランドデザインと将来像を明確にしています。

動画で体験してください

WEBキャンパス
University Guidance On The WEB ガイダンス

進路情報について現在WEB化を進めており、本学ホームページ上で動画による学科説明や授業が体験できる「WEBキャンパスガイダンス」を公開しました。各学科の教員が、それぞれの特色や活動内容について、わかりやすく簡単に説明しています。ぜひ一度ご覧いただき、今後の進路研究にご活用いただければ幸いです。

また、今年度予定しておりました「オープンキャンパス2020」の新たな開催日程や開催内容につきましては、決定次第、本学ホームページでご案内させていただきます。参加を予



www.matsumoto-u.ac.jp/video



学科説明



学生生活



体験授業



定されていた高校生の皆さまにご迷惑をおかけしていることをお詫びさせていただくとともに、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

なお、入試に関する相談やお問い合わせは随時、電話・メールにて受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

入試に関する情報はホームページでご確認いただくか、
入試広報室までお問い合わせください。

www.matsumoto-u.ac.jp ☎0120-507-200



オンライン授業を
体験してみましょう!

「WEBキャンパスガイダンス」では、オンライン授業がどのように実施されているか、その様子が体感できる映像を紹介しています。



編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、県内で様々な社会活動の自粛が要請されるなか、本学でも卒業式や入学式の規模を大幅に縮小しただけではなく、前期講義の完全遠隔授業化にも踏み切りました。急なことで、学生側のインターネット環境等が心配されましたが、何とかクリアできました。教員側も講義で使用する様々な資料を遠隔授業に対応できるように作り直し、事務局開催の研修を受け、慣れない遠隔授業用のソフトウェアを使用するなど、多くの初めてのことを経験しました。就職活動でも、エントリーから面接まで、すべてインターネットで行われるなど、新型コロナウイルスがもたらした様々な影響による、社会の歴史的な大転換点に直面していることを実感します。

(記・入試広報委員長 山田 一哉)

